

令和5年度熊本県立宇土高等学校Q&A

■宇土高校とは

Q 1 宇土高校はどんな学校ですか？

A 県央学区唯一の県立併設型中高一貫教育校です。学科は普通科のみ。
国のスーパーサイエンスハイスクール指定校、県の英語フロンティアハイスクール指定校です。

Q 2 どんな特長がありますか？

A 豊かな自然環境と世界につながるネットワークをいかした宇土高校ならではの探究する学びで、「創造・挑戦・感動」できる学校です。

Q 3 スクールミッションのポイントは何ですか？

A 自ら学び、考え、行動できるグローバルリーダーを育てます。

Q 4 スクール・ポリシーを教えてください。

A スクール・ポリシーには3つの方針があります。

★グラデュエーション・ポリシー（卒業までに、こんな資質・能力を育みます）

①基礎学力の定着と幅広い知識を基盤として、教科横断的な考え方ができる資質・能力を育成します。

②社会問題に興味・関心をもち、自ら解決できる資質・能力を育成します。

③豊かな人権感覚を備え、様々な教育活動を通して、命の大切さ・他人への思いやり・支え合う人間関係を構築できる資質・能力を育成します。

★カリキュラム・ポリシー（高校生活は、こんな学びを行います）

①スーパーサイエンスハイスクールの特例を生かし、課題研究などの学校設定科目の研究や実践、ICTを活用した先導的な取組を行い、多様な能力を育む授業を行います。

②探究の「問い」から始まる授業や、課題研究などの探究的活動を通して、多角的な課題解決能力を身に付ける取組を行います。

③中高一貫教育校の利点を生かし、生徒の興味を持続させる系統立ったカリキュラムを生かした授業を行います。

★アドミッション・ポリシー（高校では、こんな生徒を待っています）

①本校のスクール・ミッションを理解し、自分自身を高め、目標達成のため努力を継続できる生徒を募集します。

②社会で貢献できる将来の自分をイメージし、学校で学ぶこと以外でも、多くのことを学ぼうとする意欲がある生徒を募集します。

③学習、部活動、学校行事など学校でのすべての教育活動に、意欲的に取り組もうとする生徒を募集します。

■授業について

Q 5 どんな授業をやっていますか？

A 宇土高校ならではの授業として、次のような実践をしています。
・すべての教科で探究の「問い」を創る授業
・1人1台端末を活用した授業
・教科融合型の授業

Q 6 探究の「問い」を創る授業とは？

A 生徒・教師がともに「問い」を創り、生徒が主体的に活動する授業です。

Q 7 なぜ「問い」を重視するのですか？

A 「問い」が思考の出発点だからです。日常生活の気づき、自然の不思議、社会の困りごとを教室に持ち寄って、疑問や課題の解決、解消に向けた学びのためです。

Q 8 1人1台端末を活用した授業とは？

A 例えば、「問い」に対して考えたことを一斉に端末に入力します。そうすると、全員の意見がスクリーンに表示されます。それをもとに議論したり、自分の考えを深めることができます。すなわち、個別最適な学び、協働的な学びにつながる授業です。

Q 9 教科融合型の授業とは？

A 学校設定科目「ウェルビーイング」は情報と数学の融合科目で、文系・理系関係なく、これからの時代に必須のデータサイエンスを全生徒が学びます。

Q 10 総合的な探究の時間ではどんなことをするのですか？

A 総合的な探究の時間「ロジック」では、自分の研究テーマを個人やチームで深く探究できます。例えば、「知らない現象（不知火現象）を科学する」、「五色山の活性化～泥がドロン」、「SUMIYOSHIの海苔を世界へ」などユニークなテーマで研究を進めています。

Q 11 どんな日課や時間割ですか？

A 朝は8：30登校です。
火曜日以外は6限授業で、15：40には授業が終了します。
ウトウトタイムという午睡の時間もあります。
放課後は、部活動や学習・研究など自分のライフスタイルに合わせた活動をやっています。
来年度の1年生も同様の日課や時間割になります。

Q 12 評価はどうなっていますか？テストは難しいですか？

A 観点別評価を適正に実施するため、令和5年度から定期考査を学期1回に削減しました。テストに偏った評価を改善し、単元テストや日頃の授業におけるワークシート評価、作品評価などで、きめ細かに学習状況を見ていきます。3観点の比率は、原則1：1：1です。生徒の皆さんにとっては、短いスパンで学習チェックができるので、自律性の向上と学力向上につながります。

Q 13 課外はあるのですか？

A 早朝の課外はありません。
生徒の皆さんの自発的な学びをサポートする様々な準備をしています。
1つ目、全生徒が朝夕利用できる自習室を設置しています。
2つ目、同窓会館を活用して、自習塾を開設しました。
3つ目、高校3年生には、完全希望制の特別講座を放課後に開講しています。
4つ目、自分の進路について考える機会を多く設けるため、キャリアガイダンスを充実させています。

■SSHについて

Q 14 スーパーサイエンスハイスクール（SSH）って何ですか？

A 文部科学省が指定する将来国際的に活躍しうる科学技術人材の育成を図るため、先進的な理数系教育を実施する高等学校のことで、全国218校の1校です。これまでの取組成果と今後の研究開発目標が評価され、令和5年度から第3期11年目の指定を受けています。

Q 15 SSH校としての宇土高校の目標は何ですか？

A ウェルビーイングを目指し、UTO-LOGICを駆使して新たな価値を創る科学技術人材の育成です。

Q 16 UTO-LOGICって何ですか？

A 「LOGIC」とは、宇土高校の探究で育てる思考の種のことです。
Think Logically, Objectively and Globally. Be Innovative and Creative
「論理的（L）に、客観的（O）に、グローバル（G）に思考せよ。その思考は革新的（I）であれ、創造的（C）であれ。」を表示しています。

Q 17 SSHは理系希望対象者のプログラムですか？

A いいえ、一部の生徒限定ではなく、全校生徒がSSHの対象です。社会探究コース・自然探究コースどちらのコースでも、文理融合の学際的領域を含めて自分の研究したい分野を探究できる授業やプログラムがあります。

Q 18 校外でどんな研修がありますか？

A 全生徒が未来体験学習として、KMバイオロジクスをはじめ、県内の企業や研究機関から学ぶ機会があり、また、希望者対象の関東研修では、理化学研究所、JAXA（宇宙航空開発機構）、建築研究所、国際統合睡眠医科学研究機構などを訪問し、日本の最先端の研究を学ぶ機会があります。

Q 19 理系の研究が多いですか？

A いいえ、水・海・火・光・波・音・菌・食・衣・眠・体・性など幅広い分野で地域課題解決から学術的研究まで様々です。ウェルビーイングにつながる皆さんの着想次第です。

■グローバル教育について

Q 20 宇土高校のグローバル教育とはどんなことですか？

A 過去12年間で海外研修を経験した生徒が延べ368人、国際研究発表を経験した生徒が延べ146人います。希望者が参加するグローバルスタディーズプログラム（県内）、ボストン研修、台湾研修プログラムなどがあります。その他、グローバル研修体系を見直し中です。

Q 21 グローバルスタディーズプログラムについて教えてください。

A 希望者対象です。県内を会場に夏休み中の5日間、生徒5～7人に1名の外国人大学生・大学院生がグループリーダーとなり、キャリアプランを共有、多様性とグローバルな視点を体験します。ディスカッションやプレゼンテーションを通じて英語のアウトプットの場を経験できます。

Q 22 ボストン研修について教えてください。

A 希望者対象の春休み中、7日間程度の米国ボストン研修です。福岡県、佐賀県、長崎県の高校生とともに、ハーバード、MITなどのTOP大学にて超高校級の研修を実施します。レクチャー、ワークショップ、現地大学生とのディスカッションを通じて、生徒は自己の将来や夢、志について考える絶好の機会となります。

Q 23 台湾研修について教えてください。

A 希望者対象で姉妹校提携している静宜大学キャンパスツアーを11月のUTO探究週間に4日間実施します。静宜大学在学中の本校卒業生との交流、TSMC関連会社訪問、故宮博物院見学などがあります。また、12月に代表者を選出して国立中科実験中學を日頃の研究成果についての国際交流のために訪問します。

■教育課程について

Q 24 宇土高校は普通科の高校ということですが、どのようなコースがあるのですか？

A 宇土高校では文系・理系という旧来の枠組みにとられない教育課程を編制しています。具体的には、2年次から社会探究コースと自然探究コースに分かれます。例えば、文学・法律・経済・教育・芸術などに関心がある生徒は社会探究コース、理学・工学・建築・医療・農学などに関心のある生徒は自然探究コースを希望します。

Q 25 宇土高校は中高一貫教育校ということですが、中学から進学した生徒と高校から入学した生徒はクラス編制で混ざるのでしょうか？

A 現在はクラスを分けて編制しています。

Q 26 今後、混ざる可能性はあるのでしょうか？

A 高校2年次からを想定し、混ぜる方向で検討しています。理由としては、社会情勢の変化に伴い、多様な考え方をもった人との交わりの中で学ぶことが、双方にとってメリットが大きくなる可能性があるからです。

■学校生活について

Q 27 どんな行事がありますか？

A 学校行事の主なものに、生徒が主体的に企画・運営する5月の体育祭や9月の文化祭があります。また、今年度から探究の学びの交流の機会として、7月に熊本城ホールで「UTO Well-Being探究Award」を開催しました。さらに、11月に「UTO探究週間」を設置します。土日祝日を含めて9日間の秋休みのなかで、それぞれの探究を新たにすると他に例のない試みを導入しました。

Q 28 宇土高校の設備は充実していますか？

A 教室にはICT・冷暖房設備が整い、年間を通して快適な環境の中で学習ができます。蔵書65,000冊の図書館、豊富な実験器具を備えた理科室、職員室に隣接する自学室、2つの体育館に3つのグラウンドがあります。

Q 29 売店はありますか？お弁当の販売はありますか？

A 売店はあります。お弁当やパンなどを販売しています。飲み物の自動販売機が4台あり、カロリーメイトなど軽食の自動販売機もあります。

Q 30 通学のことを教えてください。

A 多くの生徒は自転車で通学しています。JRやバス、バイクを利用している生徒もいます。宇土駅から自転車で10分です。通学に時間がかかる地域在住の生徒には、バイク通学の条件を緩和しました。

Q 31 最寄りのバス停はどこですか？

A 「宇土本町1丁目 宇土高校入口」です。降りて3分です。

Q 32 寮はありますか？

A 学校に隣接して寮がありますが、入寮希望者の減少に伴い寮費が急上昇し、運営が困難となったため、令和4年4月1日より休寮しています。

■進路について

Q 33 宇土高校の生徒の進路状況を教えてください。

A 約7割の生徒が4年制の国公立大学や私立大学に進学し、海外の大学に進学する生徒も毎年複数います。スーパーサイエンスハイスクールの特色を生かした探究活動が充実しているため、総合型選抜・推薦入試による進学者も多いのが特徴です。過去5年間の国公立大学合格者に占める総合型選抜・推薦入試による合格の割合は39.3%を占めます。

令和5年度入試結果（現浪、延人数）

海外大学2人 国公立大学63人 私立大337人 短期大学5人 医療専門学校50人
台湾静宜大学、お茶の水大、名古屋大、岡山大、山口大、九州大、熊本大、熊本県立大、九州工大、福岡教育大、佐賀大、長崎大、大分大、宮崎大、鹿児島大、琉球大、中央大、同志社大、西南学院大、福岡大、熊本学園大、崇城大、熊本保健科学大、九州看護福祉大、九州ルーテル学院大、高等看護学校他

Q 34 将来は公務員を志望していますが、公務員の進路実績もありますか？

A 毎年、公務員志望者もあり、県内外を問わず様々な職種に合格実績があります。

Q 35 進路に関する何か特別な対策をされていますか？

A 自分の将来をデザインするキャリアデザインの充実を図っています。各学期の終わりに午前中授業の週間を設け、午後はキャリアデザイン講座を開講しています。生徒は聴きたい講座に参加し、将来をしっかりと考える糧にしています。

■部活動について

Q 36 宇土高校にはどんな部活動がありますか？

A 宇土高校は、多くの部活動があります。体育系は、陸上競技部、水泳部、バレーボール部、バスケットボール部、柔道部、剣道部、ソフトテニス部、卓球部、バドミントン部、野球部、弓道部、サッカー部、ハンドボール部、ソフトボール部、テニス部、ヨット部など16の部活動があります。文化系は、科学部、美術部、書道部、食物部、茶道部、華道部、放送部、文芸部、英語部、吹奏楽部、和太鼓部など11の部活動があります。

Q 37 部活動の練習や休日について教えてください。

A 1週間の練習日は5日以内で、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上を休養日としています。また、平日の完全下校時間を19:00としています。

Q 38 部活動の成果はどうですか？

A ヨット部は県内唯一で、全国大会で上位に入賞しています。陸上競技部、水泳部等も九州大会や全国大会に出場しています。また、科学部は地域団体・大学・企業と連携して社会と共創した研究に取り組み、成果をあげています。科学部地学班は、今年の全国総合文化祭で2位を受賞しました。放送部や美術部も全国大会に出場しています。